

通信網拡充事業(II)



アクラ電話交換局の新設交換機

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	10,508百万円 / 10,384百万円
借 款 契 約 調 印	1988年12月
借 款 契 約 条 件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1996年9月

[事 業 概 要]

電話交換設備、伝送路及び加入者ケーブル等を拡充することにより電話需要の増加に対処し、電話サービスの改善を図るもの。

[評 価 結 果]

本事業は、第1期円借款（1983年）による首都アクラ等、主要都市間の伝送路の増強に続いて、各都市における交換局（39局）や加入者ケーブルの拡充等を対象としたものである。

ガーナの電話普及率（人口100人当たり電話数）は、1985年の0.29台から、本事業が完成した後の1996年には0.43台に増加した。また、電話サービスの質を計る通話完了率についても、国際通話、国内長距離通話ともに1990年の各20%、49%から1998年には50%、83%へと改善している。このように、本事業は世銀等他の援助機関の支援とあいまって、ガーナの電話サービスの改善に寄与したものと評価される。

一方、ガーナの電話需要は依然として高く、積滞数は約11万回線に上っており、通信設備の一層の改善が期待されている。

なお、本事業の実施機関であったガーナ郵電公社は1997年の株式会社化等を通じて経営の効率化が図られており、財務・技術力等の面でも、設備の運営・維持管理に特段の問題はない。